

青森県議会議長 殿

青森県議会議員

田名部 定 男



今

博



鶴賀谷 貴



高 畑 紀 子



夏 堀 嘉一郎



小笠原 大 佑



## 議 員 派 遣 結 果 報 告 書

下記の通り議員派遣を終了しましたのでその結果を報告します。

記

## 1. 派遣目的

## (1) 「健康しが」の取り組みに関する調査

厚生労働省による最新の統計調査で、滋賀県の平均寿命は全国男性1位、女性2位と大きく向上し、滋賀県は長寿県となった。一方、本県は男女ともに平均寿命が全国最下位であり、長年ワーストの位置を占めている。60年代は全国平均以下であった滋賀県の平均寿命であるが、向上の一因となった県の取り組みを調査し、本県の平均寿命向上への施策へ活かす。

## (2) 地域の自然資源を活かした観光振興及びSDGsの取り組みに関する調査

琵琶湖をはじめ豊富な自然資源を有する滋賀県での、自然資源を活用した観光振興ビジョン「シガリズム」や、自然資源を維持していくための取り組みを調査し、十和田湖・小川原湖などの豊かな自然資源を同様に有する本県での観光施策提案や環境保護・保全へ活かす。

## (3) デジタル地域コミュニティ通貨「ビワコ」の取り組みに関する調査

滋賀県では全国に先駆けて、県としてデジタル地域通貨「ビワコ」を導入した。本来は規模の小さな市町村単位で導入されることが多い地域通貨であるが、県単位として地域通貨の導入を開始した経緯や、滋賀県内で実施している市町村での事例、また効果や課題を知り、地域コミュニティの活性化や地域内での経済循環の仕組みとしての地域通貨の可能性を探る。

## (4) 温泉資源を利用した観光振興及び地域活性化に関する調査

滋賀県大津市の琵琶湖畔に位置するおごと温泉地区は、最澄によって開かれたとされる、1200年以上の歴史を持つ温泉地区である。風俗歓楽街としてのマイナスイメージの払拭や、バブル崩壊後の不況からの再興のために、おごと温泉旅館組合では当地区の刷新を図り、コロナ禍を経ながら現在も温泉観光地区としてにぎわっている。当地区の取り組みを調査し、全国有数の温泉地を有する本県の観光振興や地域活性化への取り組みに活かす。

## (5) 地域経済・地方自治論に関する調査

日本全国で多くの地域が産業衰退、コミュニティの希薄化、犯罪・災害の多発など困難な状況を抱え、国内からは地方切り捨て、国外からは経済のグローバル化の圧力が加えられている。この状況下で、自治体はどのような視点で地域行政を実施していくべきか。地域経済学・地方自治を専門とする岡田知弘教授に講義を依頼し、聴講、質疑を通しながら、地域活性化・発展のための識見を深め、施策提案へ活かす。

## 2. 派遣場所

- 滋賀県庁(滋賀県大津市京町 4 丁目 1-1)
  - ・健康医療福祉部健康寿命推進課
  - ・商工観光労働部観光振興局
  - ・総務部市町振興課
- 公益社団法人びわこビジターズビューロー(滋賀県大津市打出浜 2-1)
- おごと温泉旅館協同組合(滋賀県大津市雄琴 6 丁目 5-1)
- 京都橘大学(京都府京都市山科区大宅山田 3 4)

## 3. 派遣期間（日程表添付）

令和 6 年 3 月 2 5 日（月）～ 3 月 2 7 日（水）

## 4. 派遣結果

別紙の通り

